

国学经典文库 图文珍藏版

线装书局

二十五史

精华



中华民族自成体系的史书长城
世界文明绝无仅有的文化奇观



国学经典文库 图文珍藏版

线装书局

二十五史

精华



〔西汉〕司马迁等原著 马松源主编





目 录

新 唐 书

房玄龄传	(871)
魏征传	(871)
王珪传	(874)
马周传	(875)
崔仁师传	(875)
褚遂良传	(876)
杜正伦传	(876)
徐有功传	(877)
狄仁杰传	(878)
韦思谦传	(879)
魏元忠传	(879)
萧至忠传	(881)
姚崇传	(881)
卢怀慎传	(882)
韩休传	(883)
李晟传	(883)
张建封传	(884)
崔郾传	(884)
柳公绰传	(885)
列传第九十·论赞	(885)
令狐楚传	(885)
李藩传	(886)
王锬传	(886)
于颀传	(887)
裴度传	(887)
元稹传	(887)
刘栖楚传	(889)
杨虞卿传	(890)
列传第一百·赞语	(891)
韩愈传	(891)

李景让传	(891)
舒元舆传	(892)
李德裕传	(892)
李珣传	(893)
卢钧传	(894)
裴坦传	(894)
孙偓传	(894)
韩偓传	(895)
忠文传	(896)
卓行传	(899)
循吏传	(900)
儒学传	(902)
文艺传	(904)
方伎传	(906)
列女传	(907)
外戚传	(908)
宦者传	(908)
酷吏传	(910)
藩镇魏博传	(911)
吐蕃传	(911)
北狄传	(912)
奸臣传	(912)

旧 五 代 史

太祖本纪	(919)
李罕之传	(919)
张策传	(920)
敬翔传	(920)
李振传	(921)
氏叔琮传	(921)
李思安传	(921)
杨师厚传	(922)





刘郢传	(922)	马全节传	(949)
孙鹭传	(923)	张筠传	(949)
罗隐传	(924)	陆思铎传	(950)
段深传	(924)	康福传	(950)
武皇本纪	(925)	安彦威传	(950)
庄宗本纪	(926)	王权传	(951)
明宗本纪	(927)	李专美传	(951)
末帝本纪	(929)	张仁愿传	(951)
李克宁传	(930)	尹玉羽传	(952)
李嗣昭传	(930)	裴从简传	(952)
李存进传	(931)	潘环传	(953)
王镕传	(932)	高汉筠传	(953)
史建瑭传	(932)	郑玄素传	(954)
盖寓传	(933)	张砺传	(954)
郭崇韬传	(933)	高祖本纪	(954)
赵光逢传	(935)	隐帝本纪	(955)
李琪传	(935)	李皇后列传	(956)
苏楷传	(936)	刘审交传	(957)
苏循传	(937)	武汉球传	(957)
张全义传	(937)	白再荣传	(957)
王晏球传	(938)	史弘肇传	(958)
朱汉宾传	(938)	王章传	(958)
周知裕传	(939)	刘铎传	(959)
李建及传	(939)	苏逢吉传	(959)
安重海传	(940)	杜重威传	(960)
赵凤传	(940)	太祖本纪	(960)
崔沂传	(941)	世宗本纪	(961)
张宪传	(941)	恭帝本纪	(963)
姚洪传	(941)	王殷传	(963)
马郁传	(942)	王守恩传	(963)
张承业传	(943)	王朴传	(964)
张居翰传	(944)	常思传	(964)
高祖本纪	(944)	翟光邺传	(965)
少帝本纪	(945)	世袭列传	(965)
景延广传	(946)	僭伪列传	(966)
张希崇传	(947)	刑法志	(967)
史匡翰传	(947)		
桑维翰传	(948)		
殷鹏传	(948)		
		新五代史	
		梁太祖本纪	(973)





唐明宗本纪	(973)
唐废帝本纪	(974)
周恭帝本纪	(974)
朱友文传	(975)
朱友孜传	(975)
刘皇后传	(976)
李重美传	(977)
郭崇韬传	(977)
安重海传	(977)
周德威传	(978)
桑维翰传	(979)
苏逢吉传	(979)
史弘肇传	(980)
孙晟传	(980)
唐六臣传	(981)
义儿传	(981)
伶官传	(982)
张居翰传	(982)
宦者传	(983)
刘守光传	(983)
韩建传	(984)
赵犇传	(984)
李彦威传	(985)
赵在礼传	(985)
王建立传	(986)
郭延鲁传	(986)
张希崇传	(987)
皇甫遇传	(987)
皇甫晖传	(988)
范延光传	(988)
杜重威传	(989)
张彦泽传	(989)
赵思绾传	(990)
冯道传	(990)
何泽传	(991)
张允传	(991)
南唐世家	(992)
前蜀世家	(992)
南汉世家	(993)

宋 史

太祖本纪	(999)
太宗本纪	(1000)
真宗本纪	(1003)
仁宗本纪	(1004)
英宗本纪	(1004)
神宗本纪	(1005)
哲宗本纪	(1007)
徽宗本纪	(1008)
钦宗本纪	(1009)
高宗本纪	(1011)
孝宗本纪	(1013)
光宗本纪	(1015)
宁宗本纪	(1016)
理宗本纪	(1017)
度宗本纪	(1019)
瀛国公本纪	(1020)
后妃传	(1021)
宗室传	(1021)
王溥传	(1023)
符彦卿传	(1023)
武行德传	(1024)
折德宸传	(1024)
王全斌传	(1025)
赵普传	(1025)
吴廷祚传	(1026)
李处耘传	(1027)
曹彬传	(1028)
刘廷让传	(1029)
崔彦进传	(1029)
张琼传	(1030)
李琼传	(1030)
陈思让传	(1031)
李谷传	(1031)
窦贞固传	(1032)
张铸传	(1032)
边归谠传	(1033)





刘温叟传	(1033)	陈希亮传	(1053)
张昭传	(1034)	贾黯传	(1053)
薛居正传	(1035)	吕景初传	(1054)
宋琪传	(1035)	范正辞传	(1055)
李昉传	(1036)	乐黄目传	(1056)
吕蒙正传	(1037)	张雍传	(1056)
张齐贤传	(1037)	李迪传	(1057)
贾黄中传	(1038)	杜衍传	(1058)
钱若水传	(1038)	晏殊传	(1058)
赵昌言传	(1038)	庞籍传	(1059)
剧可久传	(1039)	韩琦传	(1059)
赵延进传	(1039)	王珪传	(1060)
何继筠传	(1040)	富弼传	(1061)
李谦溥传	(1040)	文彦博传	(1062)
樊知古传	(1040)	范仲淹传	(1062)
张鉴传	(1041)	韩亿传	(1064)
姚坦传	(1041)	包拯传	(1064)
刘综传	(1042)	赵抃传	(1065)
吕端传	(1042)	唐介传	(1065)
毕士安传	(1042)	钱惟演传	(1066)
寇准传	(1044)	欧阳修传	(1067)
李沆传	(1045)	曾巩传	(1069)
王旦传	(1045)	王安石传	(1069)
鲁宗道传	(1046)	蔡挺传	(1070)
薛奎传	(1046)	滕元发传	(1071)
王曙传	(1046)	游师雄传	(1072)
曹利用传	(1047)	穆衍传	(1072)
狄青传	(1047)	朱寿隆传	(1072)
吴育传	(1048)	高永能传	(1073)
宋绶传	(1048)	种世衡传	(1073)
明镐传	(1048)	司马光传	(1074)
田锡传	(1049)	苏轼传	(1075)
张咏传	(1049)	苏辙传	(1077)
苏绅传	(1050)	刘摯传	(1078)
赵师民传	(1050)	马默传	(1078)
尹洙传	(1051)	沈畸传	(1079)
杨察传	(1051)	徐勣传	(1080)
梁颢传	(1052)	石公弼传	(1080)
孙道辅传	(1052)	刘昌祚传	(1081)





王光祖传	(1081)	袁枢传	(1108)
和斌传	(1082)	范成大传	(1109)
唐恪传	(1082)	陆游传	(1109)
孙傅传	(1083)	赵雄传	(1110)
蔡薏传	(1084)	倪思传	(1110)
梅执礼传	(1085)	仇愈传	(1111)
李纲传	(1086)	辛弃疾传	(1111)
宗泽传	(1088)	汪纲传	(1112)
赵鼎传	(1089)	徐经孙传	(1113)
张浚传	(1089)	牟子才传	(1113)
陈禾传	(1090)	郑清之传	(1114)
韩世忠传	(1091)	董槐传	(1114)
岳飞传	(1092)	余玠传	(1115)
刘锜传	(1095)	汪立信传	(1115)
吴玠传	(1095)	胡颖传	(1116)
吴玠传	(1096)	冷应澄传	(1117)
杨存中传	(1096)	江万里传	(1117)
王德传	(1097)	文天祥传	(1118)
王彦传	(1097)	李庭芝传	(1118)
魏胜传	(1098)	徐侨传	(1119)
杨再兴传	(1098)	赵逢龙传	(1120)
王友直传	(1099)	孙子秀传	(1120)
吕祉传	(1100)	李伯玉传	(1121)
列传一二九论	(1100)	谢枋得	(1121)
朱弁传	(1101)	赵尚宽传	(1121)
洪皓传	(1101)	循吏传	(1122)
廖刚传	(1102)	道学传	(1123)
常同传	(1102)	儒林传	(1124)
张致远传	(1103)	文苑传	(1126)
吴表臣传	(1103)	忠义传	(1129)
王居正传	(1104)	孝义传	(1132)
程瑀传	(1105)	卓行传	(1133)
洪拟传	(1105)	方伎传	(1135)
赵逵传	(1105)	外戚传	(1136)
萧燧传	(1106)	宦者传	(1136)
刘珙传	(1106)	佞幸传	(1137)
金安节传	(1107)	奸臣传	(1138)
汪应辰传	(1107)	叛臣传	(1140)
李浩传	(1108)	外国传	(1142)





辽 史

太祖本纪	(1147)
太宗本纪	(1148)
圣宗本纪	(1149)
兴宗本纪	(1150)
道宗本纪	(1151)
天祚皇帝本纪	(1153)
百官志	(1155)
仪卫志	(1156)
后妃传	(1156)
义宗倍传	(1159)
义宗耶律倍传	(1159)
章肃皇帝李胡传	(1161)
顺宗耶律濬传	(1161)
耶律曷鲁传	(1161)
韩延徽传	(1162)
韩知古传	(1162)
耶律铎臻传	(1163)
耶律图鲁窘传	(1164)
张砺传	(1165)
耶律屋质传	(1165)
耶律吼传	(1166)
室昉传	(1166)
耶律贤适传	(1167)
耶律阿没里传	(1167)
张俭传	(1168)
马得臣传	(1169)
王继忠传	(1169)
萧合卓传	(1170)
耶律制心传	(1170)
耶律休哥传	(1170)
耶律学古传	(1171)
高勋传	(1171)
耶律合住传	(1172)
耶律襄履传	(1172)
牛温舒传	(1172)
萧孝穆传	(1173)

耶律庶成传	(1173)
耶律韩留传	(1174)
杨佖传	(1174)
萧陶隗传	(1175)
耶律那也传	(1176)
耶律世良传	(1176)
耶律俨传	(1176)
刘仲传	(1177)
萧岩寿传	(1177)
耶律撒剌传	(1178)
耶律石柳传	(1178)
文学传	(1179)
萧韩家奴传	(1179)
耶律孟简传	(1180)
马人望传	(1181)
耶律铎鲁斡传	(1181)
耶律官奴传	(1182)
烈女传	(1182)
罗衣轻传	(1182)
国语解	(1183)

金 史

本纪第一·世纪	(1189)
本纪第二·太祖	(1189)
本纪第三·太宗	(1190)
本纪第四·熙宗	(1191)
本纪第五·海陵	(1191)
本纪第六·世宗(上)	(1192)
本纪第七·世宗(中)	(1193)
本纪第八·世宗(下)	(1194)
本纪第九·章宗(一)	(1195)
本纪第十·章宗(二)	(1195)
本纪第十四·宣宗(上)	(1196)
本纪第十五·宣宗(中)	(1197)
本纪第十六·宣宗(下)	(1197)
本纪第十七·哀宗(上)	(1198)
列传	(1199)
撒改传	(1201)





宗宪传	(1201)
阿里合懋传	(1202)
宗尹传	(1202)
宗宁传	(1203)
宗弼传	(1203)
挾懶传	(1204)
时立爱传	(1204)
李成传	(1205)
徐文传	(1205)
宇文虚中传	(1206)
张浩传	(1206)
张汝霖传	(1207)
李石传	(1207)
良弼传	(1208)
完颜守道传	(1208)
石琚传	(1209)
移剌道传	(1209)
孟浩传	(1209)
赵元传	(1210)
贾少冲传	(1210)
杨邦基传	(1210)
徒单克宁传	(1211)
完颜安国传	(1211)
移剌履传	(1211)
张大节传	(1212)
孙铎传	(1212)
宗端脩传	(1213)
完颜伯嘉传	(1213)
李复亨传	(1214)
承晖传	(1214)
仆散安贞传	(1215)
张行信传	(1215)
侯摯传	(1215)
完颜素兰传	(1216)
陈规传	(1216)
许古传	(1217)
杨云翼传	(1217)
程震传	(1218)
完颜奴申传	(1219)

徒单兀典传	(1219)
蒲察官奴传	(1219)
时青传	(1220)
乌古论镐传	(1220)
张天纲传	(1220)
完颜仲德传	(1221)
忠义传	(1221)
文艺传	(1222)
隐逸传	(1224)
循吏传	(1225)
酷吏传	(1225)
佞幸传	(1226)
方伎传	(1226)

元 史

太祖本纪	(1231)
宪宗本纪	(1232)
世祖本纪	(1232)
武宗本纪	(1233)
仁宗本纪	(1234)
英宗本纪	(1234)
文宗本纪	(1235)
顺帝本纪	(1236)
食货志	(1236)
后妃传	(1237)
裕宗传	(1238)
木华黎传	(1239)
察罕传	(1240)
留速不台传	(1240)
抄思传	(1241)
俺木海传	(1242)
召烈台抄兀儿传	(1242)
赵阿哥潘传	(1242)
塔塔统阿传	(1243)
忙哥撒儿传	(1243)
赛典赤传	(1244)
高智耀传	(1244)
安童传	(1244)





廉希宪传	(1245)	商挺传	(1264)
伯颜传	(1246)	赵良弼传	(1265)
不忽木传	(1246)	赵璧传	(1265)
亦黑迷失传	(1247)	王磐传	(1266)
玉哇失传	(1247)	王鹗传	(1267)
朵儿赤传	(1248)	高鸣传	(1267)
刘容传	(1248)	李冶传	(1268)
朵罗台传	(1248)	李昶传	(1268)
阿沙不花传	(1249)	刘肃传	(1268)
拜住传	(1249)	李谦传	(1269)
察罕传	(1250)	徐世隆传	(1269)
脱脱传	(1250)	刘整传	(1270)
乃蛮台传	(1251)	史弼传	(1270)
朵尔直班传	(1251)	刘国杰传	(1270)
阿鲁图传	(1252)	李德辉传	(1271)
太平传	(1252)	张雄飞传	(1271)
彻里帖木儿传	(1253)	张德辉传	(1271)
马祖常传	(1253)	程思廉传	(1272)
巉巉传	(1254)	乌古孙泽传	(1272)
自当传	(1254)	赵炳传	(1273)
答里麻传	(1255)	王恂传	(1273)
星吉传	(1255)	郭守敬传	(1273)
耶律楚材传	(1256)	魏初传	(1274)
杨惟中传	(1256)	尚野传	(1274)
张柔传	(1257)	王恽传	(1275)
史天泽传	(1257)	陈祐传	(1275)
董俊传	(1258)	陈天祥传	(1275)
董文直传	(1258)	何荣祖传	(1276)
郝和尚拔都传	(1258)	姚天福传	(1276)
赵迪传	(1259)	贺仁杰传	(1277)
王庆瑞传	(1259)	贾昔刺传	(1277)
刘斌传	(1260)	尚文传	(1277)
史天泽传	(1260)	程钜夫传	(1278)
董文炳传	(1260)	赵孟頫传	(1278)
张弘范传	(1261)	曹元用传	(1279)
刘秉忠传	(1261)	齐履谦传	(1279)
郝经传	(1262)	叶李传	(1280)
姚枢传	(1263)	马绍传	(1280)
许衡传	(1263)	姚燧传	(1281)





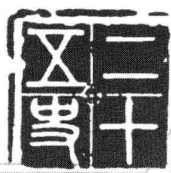
刘赓传	(1281)	许有壬传	(1289)
郝天挺传	(1281)	李好文传	(1289)
张珪传	(1282)	李术鲁翀传	(1289)
李孟传	(1282)	王都中传	(1290)
张养浩传	(1282)	吕思诚传	(1290)
李元礼传	(1283)	韩镛传	(1291)
谢让传	(1283)	盖苗传	(1291)
赵师鲁传	(1284)	曹鉴传	(1292)
秦起宗传	(1284)	张翥传	(1292)
张思明传	(1285)	乌古孙良桢传	(1292)
张升传	(1285)	儒学传	(1294)
陈颢传	(1285)	良吏传	(1296)
刘敏中传	(1286)	忠义传	(1296)
王结传	(1286)	孝友传	(1297)
杨朵儿传	(1286)	隐逸传	(1298)
元明善传	(1287)	释老传	(1299)
虞集传	(1287)	方伎传	(1300)
揭傒斯传	(1288)	宦者传	(1302)
吴莱传	(1288)		



【国学经典文库】

新唐书

【宋】欧阳修 宋祁 等



綫裝書局



序 言

《新唐书》二百二十五卷,包括本纪十卷,志五十卷,表十五卷,列传一百五十卷。

宋仁宗认为刘昫的《唐书》浅陋,下诏重修。前后参与其事的有欧阳修、宋祁、范镇、吕夏卿、王畴、宋敏求等人。其中列传主要由宋祁负责,本纪、志、表主要由欧阳修负责,所以《新唐书》署“欧阳修、宋祁撰”。宋祁有文名,曾任知制诰、翰林学士等职。他历时十余年完成列传,于嘉祐三年(1058)交齐全部列传的稿子。欧阳修是北宋著名的文学家,擅长古文,他因参加推行“庆历新政”的活动,被贬为地方官,至至和元年(1054)才调到朝廷任翰林学士,主持修史工作,等到他写定本纪、志、表,已是嘉祐五年(1060)的事了。列传与本纪、志、表合在一起时,并没有经过严格的整齐划一。

《新唐书》比起《旧唐书》来,确有一些特点和优点。首先,《新唐书》的作者对志下了一番功夫,增加了以前各史所没有的《仪卫志》、《兵志》。《兵志》虽没能够详述制度的演变,但毕竟为我们提供了唐代军制废置得失的若干情况。更重要的是,《兵志》的编修,为二十四史增添了新内容,在《新唐书》之后,许多史书都编写了《兵志》。又《旧唐书》没有《选举志》,《新唐书》效法在它之前成书的《旧五代史》,写了《选举志》,记载了唐代的科举制度。其他几个志也各增补了新资料,质量多在《旧唐书》之上。如《食货志》增为五卷,其中有关授田情况和租庸调的记载,较旧志丰富得多;《地理志》记述唐代州县建制沿革、军府设置、物产分布等状况,补正了旧志的不少缺略;《艺文志》比《旧唐书·经籍志》增收了许多图书,仅唐人文集就由一百余家增至六百多家。

《三国志》以后各史都没有编写表,到了《新唐书》,才又承袭《史记》、《汉书》的传统,编制了《宰相表》、《方镇表》、《宗室世系表》、《宰相世系表》,为人们学习唐代历史提供了许多方便。《新唐书》还在列传中保存了一些《旧唐书》所未载的史料,如增补了不少唐代晚期人物的列传等等。

但是,《新唐书》比起《旧唐书》来,也存在一些明显的缺点。如《旧唐书》本纪有三十万字左右,《新唐书》压缩到不足十万。个别的帝纪,删减得更加厉害,如《哀帝纪》,《新唐书》的字数还不到《旧唐书》的十分之一。由于大量删削,许多可贵的史料佚失了。从这一意义上说,《新唐





书》本纪的“简”倒不如《旧唐书》的“繁”。列传部分,《新唐书》的编者一方面增加内容,另一方面又把《旧唐书》原有的一些内容削去。有时过分追求文字的简省,导致叙事不明。宋祁还有个毛病,即好用古字僻语,常常把《旧唐书》原来比较通畅易读的文字,改写得晦涩难读。又对《旧唐书》列传里用骈体写的诏令、奏议之类,也喜欢改写为古文。总的说来,新、旧《唐书》各有优劣,厚此薄彼或厚彼薄此都是片面的。





房玄龄传

创业不易，守业更难

【原文】

帝尝问：“创业、守文孰难？”玄龄曰：“方时草昧，群雄竞逐，攻破乃降，战胜乃克，创业则难。”魏征曰：“王者之兴，必乘衰乱，覆昏暴，殆天授人与者。既得天下，则安于骄逸。人欲静，徭役毒之；世方敝，哀刻穷之。国繇此衰，则守文为难。”帝曰：“玄龄从我定天下，冒百死，遇一生，见创业之难。征与我安天下，畏富贵则骄，骄则怠，怠则亡，见守文之不为易。然创业之不易，既往矣；守文之难，方与公等慎之。”

【译文】

唐太宗曾经问道：“创业和守业哪个更难？”房玄龄说：“创业之时，天下大乱，群雄一齐来争夺江山，打败并降服了他们，才获得了最终的胜利，创业是艰难的。”魏征说：“帝王的兴起必定要乘世道衰败动乱之时，推翻昏庸残暴的君主，大概是上天和民众把江山给予了他。得到天下之后，就往往骄奢淫逸地享受太平了。百姓想安居乐业，却用徭役来伤害他们；民间还很困苦，却搜刮财物而使人民更加贫穷。国家由此衰弱下去，守业是艰难的。”唐太宗道：“房玄龄随我平定天下，屡临险境，九死一生，看到了创业的艰难。魏征和我一起保江山，担心富贵了就要骄傲，骄傲了就会懈怠，懈怠了就会灭亡，看到了守业是不容易的。然而创业的不容易，已经成为过去了；守业的艰难，正要和你们来谨慎地对待。”

魏 征 传

兼听则明，偏信则暗

【原文】

（太宗）因问：“为君者何道而明，何失而暗？”征曰：“君所以明，兼听也；所以暗，偏信也”。尧、舜辟四门，明四目，达四聪。虽有共、鲧，不能塞也；靖言庸违，不能惑也。秦二世隐藏其身，以信赵高，天下溃叛而不得闻；梁武帝信朱异，侯景向关而不得闻；隋炀帝信虞世基，贼遍天下而不得闻。故曰：“君能兼听，则奸人不得壅蔽，而下情通矣。”

【译文】

唐太宗接着问道：“作国君的遵循什么途径就能聪明，犯了什么过失就会愚昧呢？”魏征说：“国君所以聪明，在于能广泛听取各方面的意见；所以愚昧，在于偏信一面之辞。尧和舜开辟明堂四门，广开视听之路，通达地了解四方民情。虽然有共工和鲧那样的恶人，也不能蒙蔽他；即使有花言巧语而常做邪恶之事的小人，也无法迷惑他。秦二世深居宫中，偏信赵高，因而天下溃叛也不知道；梁武帝偏信朱异，





因而侯景已攻打关门也不了解；隋炀帝偏信虞世基，因而盗贼（这是对起义军的蔑称——译者）遍布天下也无从知晓。所以说：国君能广泛听取各方面的意见，奸邪的小人就无法蒙蔽，而下情也就可以上达了。”

处台榭应思民生

【原文】

郑仁基息女美而才，皇后建请为充华，典册具。或言许聘矣。征谏曰：“陛下处台榭，则欲民有栋宇；食膏粱，则欲民有饱适；顾嫔御，则欲民有室家。今郑已约昏，陛下取之，岂为人父母意！”帝痛自咎，即诏停册。

【译文】

郑仁基的女儿容貌美丽而富有才华，皇后建议把她招进宫中任充华，策命已经准备好了。有人说郑仁基已经把女儿许配人家了。魏征进谏说：“陛下身居宫室台榭之中，就应该希望人民有房屋；吃着美味佳肴，就应该希望人民有温饱舒适的生活；眷恋侍妾宫女，就应该希望人民也有家庭。现在郑家已和别人订婚，陛下还要把他女儿招进宫来，这难道是为民父母的心意吗！”唐太宗深深地责备了自己，立即下令停止了策命。



魏征像

魏征论政

【原文】

帝宴群臣积翠池，……它日，从容问曰：“比政治若何？”征见久承平，帝意有所忽，因对曰：“陛下贞观之初，导人使谏。三年以后，见谏者悦而从之。比一二年，勉强受谏，而终不平也。”帝惊曰：“公何物验之？”对曰：“陛下初即位，论元律师死，孙伏伽谏以为法不当死，陛下赐以兰陵公主园，直百万。或曰：‘赏太厚。’答曰：‘朕即位，未有谏者，所以赏之。’此导人使谏也。后柳雄妄诉隋资，有司得，劾其伪，将论死，戴胄奏罪当徒，执之四五然后赦。谓胄曰：‘弟守法如此，不畏滥罚。’此悦而从谏也。近皇甫德参上书言：‘修洛阳宫，劳人也；收地租，厚敛也；俗尚高髻，宫中所化也。’陛下恚曰：‘是子使国家不役一人，不收一租，宫人无发，乃称其意。’臣奏：‘人臣上书，不激切不能起人主意，激切即近讪谤。’于时，陛下虽从臣言，赏帛罢之，意终不平。此难于受谏也。”帝悟曰：“非公，无能道此者。人苦不自觉耳！”

【译文】

唐太宗在积翠池设宴招待群臣，……后来有一天，从容地问魏正：“近来政治如何？”魏征见太平日久，太宗思想有所懈怠，就回答说：“陛下在贞观之初，引导臣下，使之进谏。三年以后，看到进谏的人就愉快地接受他的意见。最近一二年来，虽能勉强接受规谏，但心中毕竟不满意。”太宗吃惊地说：“您用什么事实证明这一点？”